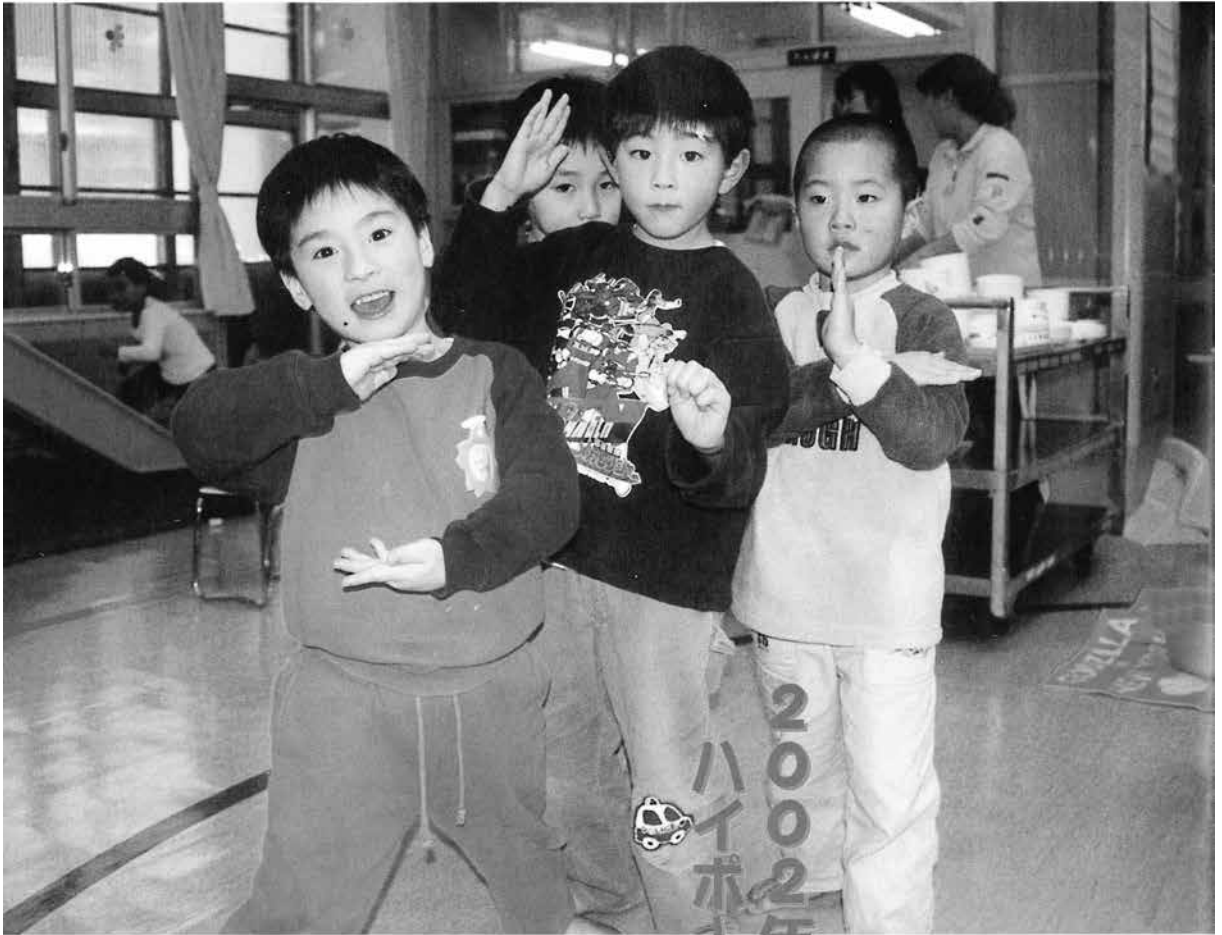


# ひがしなるせ



## 議会だより



2002年  
ハイポーズ

### もくじ

- こんなことが決まりました……………P 2
- 一般質問に5人が登壇……………P 6
- 村長の行政報告……………P11
- こんな質疑が……………P12
- こんにちは常任委員会です……………P13
- 委員会活動から……………P14
- 請願・陳情などの処理状況……………P16
- 私もひとこと(岩井川・谷藤トモ子さん)……P16

No.122

平成14年1月20日  
発行



## あぜ道せせらぎづくり事業 (議会で工事状況を視察)



モー大変

# こんまりなこと 決まりましたが

十二月十一日から十四日までの会期で定例会が開かれ、本年度の各会計補正予算や条例改正案などが提出された。会期の最終日には、議員発議による国の機関などへの意見書案が提出され、これらすべての議案などは原案可決・承認とされた。

12月 定例会

## 職員の給与を 減額

民間の賃金との均衡を図るため  
人事院勧告により、村職員(特別  
職も含む)の給与のうち特に、手  
当を減額した。  
また、当分の間賃金格差の是正  
策として、特例一時金を支給する  
こととし、全会一致でこれを可決  
した。

## 牛海綿状脳症(BSE) 対策に関する意見書を議決

議会では、通称「狂牛病」対策  
を早急に取るよう、内閣総理大臣  
をはじめ農林水産大臣など関係大  
臣宛に、意見書送付することを採  
択した。  
畜産農家のおかれている現状を  
憂い、速やかに解決するための関  
係措置を取るよう、また原因究明  
を政府の責任において行うよう、  
要請する内容である。

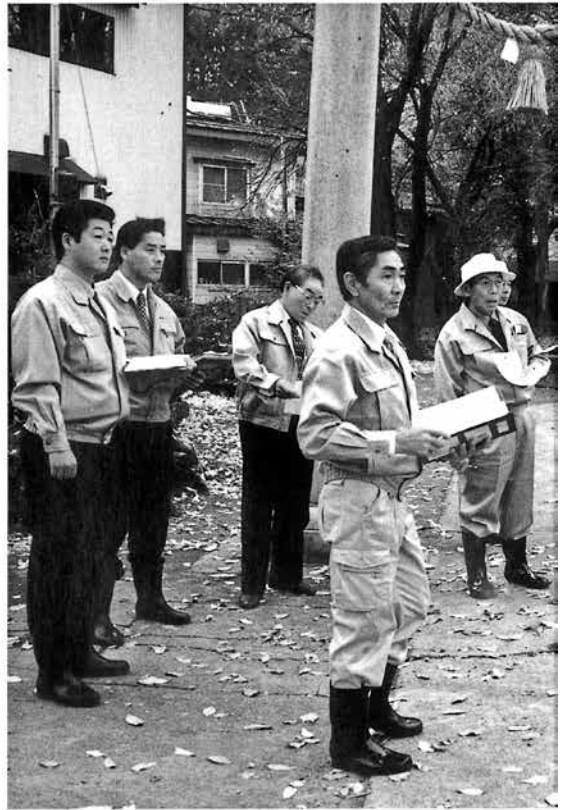
## 年頭のあいさつ



議長 長藤 正次郎  
佐藤

新年明けましておめでとうございます。  
厳しい寒さと降雪にみまわれた三が日で、除雪作業に追われた正月となりました。  
昨年は議会に対し皆様のご指導、ご協力を賜り運営に当たることができ、厚く感謝申し上げます。  
新しい世紀の年と期待された昨

年でしたが、国際テロ事件に端を発し、戦争へと続く世界の緊迫した情勢は、多難な将来を予想させます。  
一方、わが国にあつては経済の不況から脱けえず、さらに構造改革のさなかにあります。まさに激しく変化する気の抜けない時代にあつて、私たちの地方自治にとりましても分権時代とともに、合併論議が進んで来しております。  
議会といたしましても、直面する課題に冷静に対応すべく研鑽し、皆様の声を拝聴しつつ運営に努めてゆく所存です。  
本年もご指導、ご鞭撻を願ひ皆様のご多幸を祈念し挨拶とします。



## 臨時会

### マイクロバスの購入関係と

### 村営住宅の着工

十月九日に、村臨時議会が開催された。

その内容は、次のとおりである。

村例規集の電子化事業に伴う委託料の関係を十三年度から十四年度にまたがる業務とした。

機能訓練送迎車（マイクロバス）の購入費を、補助事業に組み込む内容で、補助金の申請の関係から専決処分としたものと、村ライフル射撃場（椿川字沼の上六十番地の一）の設置条例で、どれも全会一致で原案可決・承認となった。

十月三十一日に、村臨時議会が開催され、その主な内容は次のとおりである。

村営住宅の整備に関する条例（設置条例、管理条例）で、特別養護老人ホーム幸寿苑の東側に、連棟式のタイプで四戸の長屋形式のものを整備することとなった。

また公用車の購入など、関連する予算も審議され、すべて原案可決となった。

十四年の春には完成する見込みで、現在工事が進行している。



議員も村営住宅視察

(西木村)

## 防災センターとの関係で役場庁舎改修などに5,726万円余り

※ 歳出に関する主な質疑は12ページに



案 件	議決内容
13年度国保特別会計(事業)補正予算 〈1,014万8千円を追加〉	原 案 可 決
13年度国保特別会計 (直営診療施設) 補正予算 〈3,024万6千円を減額〉	
13年度簡易水道特別会計補正予算 〈歳出の組み替え補正〉	
13年度老人保健特別会計補正予算 〈15万7千円を追加〉	
13年度介護保険特別会計 (保険事業) 補正予算 〈164万2千円を追加〉	
13年度介護保険特別会計 (介護サービス事業) 補正予算 〈2万円を追加〉	
13年度下水道事業特別会計補正予算 〈歳出の組み替え補正〉	



# 主な予算・条例など

※ 陳情・請願については最終ページに掲載

## 【13年度一般会計補正予算の主なもの】

### ◎ 歳入

- ・公共土木災害復旧事業の国庫負担金、財政調整基金の取り崩し、災害復旧のための村債

### ◎ 歳出

- ・臨時職員給料減 △ 240万円
- ・村有建物維持管理業務委託減 △ 150万円
- ・役場庁舎工事設計管理委託 270万円
- ・公有林整備管理委託減 △ 450万円
- ・コミュニティ事業補助 250万円  
(田子内地区地域づくり推進委員会)



消防車・救急車を更新

- ・湯沢雄勝広域市町村圏組合負担金 185万円



これでもうだいじょうぶ (国保診療所)

- ・福祉医療費 426万円
- ・国保(事業)へ繰り出し 175万円
- ・介護保険(事業)へ繰り出し 164万円
- ・建物移転補償費減 △ 139万円  
(あぜ道せせらぎづくり推進事業関連)
- ・緑資源公団造林委託減 △ 389万円

案 件	議決内容
13年度一般会計補正予算 〈1億5,636万8千円を追加〉 (12ページに関連記事を掲載)	原
職員の給与の一部改正 (2ページに関連記事を掲載)	案
村例規の形式変更の条例 (左横書きにする内容)	可 決



うまい米づくり (岩井川)

- ・有機米生産支援補助 167万円



富田 義行 議員

# 新年度から保育料無料化を

## 村長/必要とは思いますが検討中だ

**問** 少子化対策の一環としての保育料の無料化について、村はそのことも含め「対策プロジェクトチームをつくり対応したい」と述べてきた。

現在までの検討状況を確認しながら、あらためて新年度から具体策の実現を求めたい。

**村長** 村の保育料は、相当な村費投入で他にそんな色なく低めに押さえられているが、保育料無料化にともなう課題も検討してきた。

子供が二人入所している場合の保育料は、大変重い家計負担になると思う。昨今の情勢からして指摘されているような考え方を私自身も「検討してくれ」と担当に言っており、担当も「大事な考え方でないか」と言っている。

必要とは考えるが、相当な経費のかかり増しにもなり、来年度からの新規事業ということになるのでこの場で「来年度からこうする」という言及は控えたい。

### 低所得の方の

### 介護保険負担軽減を

**問** 介護保険、高齢低所得の方の負担軽減を重要な仕事として位置づけ、保険料軽減対策では、生活保護基準以下の収入の場合は全額免除、その他の困窮者は半額以上の軽減策を。

また、第1段階の老齢福祉年金受給者の月額約三万四千円程度より年金・収入の少ない方もいる第2、第3段階の保険料が、第1段階よりも「年金・収入は少ないのに保険料は高くなる」という矛盾の解決を。

なお、第1階層の方々の保険料を軽減免除するところも出ており、厚生省が指導している三原則に従いながらも保険料段階を6段階に分け、工夫しているところも出ています。こうした事例も検討の参考にしてほしい。

また、所得の低い方ほど介護が必要とする率が高いのに、利用料が心配で介護を受けられないという方への対策も重視を。

県の動向もわれわれは注視して

# しつもん

いるが、新年度からの具体策を村としてとられるよう検討の経過も聞き、答えを求めたい。

**村長** 介護保険制度は今実施中なので今後の見直しを待ち、国や県の指導を受け、低所得者に配慮しながら現状での進捗をはかる。課題があることは認識しているし、厚生省の指導三原則を含めて検討している。利用料が高くて在宅介護の利用者が少ないという現実も間違いなくある。

実態の把握につとめ、制度全般の見直しに委ねながらも村として何ができるか、来年度からどういう軽減策を取り込んでいくか検討結果を課題として充分認識し、以降に考えたい。

### 観光物産センターの

### 建設年度と内容を聞く

**問** 農産物直売などでも期待の大きい観光物産センターの建設計画について伺う。

**村長** 観光物産センターは観光客への情報提供と雇用の場確保、消費拡大の物産販売計画を目的に計画された。

建設場所は、当初考えた田子内バイパスだけでなく、岩井川バイパスも着工されたので範囲を広げて考え、平成十六年度頃までに一定の方向を示したい。

### 他の質問事項

- 行財政改革の本格推進
- 宮田上林線は慎重な検討と見直しを



おいしいヨ  
(やまゆり保育園)



岩井川バイパス着工式

他の質問事項

●岩井川バイパスの取り付け道路

**問** 村道宮田上林線の事業計画は社会情勢や、村の財政状況を考慮して進めなければならぬと思う。行政が今求められているのは何であるのか、問われているのが今日である。

この計画が今、村に必要な事業であるかを考えると、問題があると言わざるを得ない。

村は、村民の理解と合意に向けてどのように進めるのか。

**村長** 財政状況を把握し、年度間を見通しながら財政計画を立てて実施したいと計画している。

村が村民に対し何が出来るのか、逆に村民が自分達で何が出来るのか、そういったことも総合的に判断して進めている。

理解と合意については、議会、あるいは行政の中で検討を加え、村発展計画や過疎計画などを審議していただき事業実施をしていくという機関決定を行い、ルールに沿って進めている。

小学校施設移転を  
どう考えるか

**問** この計画を進めると、給食センターや小学校校庭の移転も必要となるが、道路計画と並行した移転計画、あるいは先行実施の取り

# いっぱん

組みが必要とも考えられる。移転場所や事業費はおよそいくらか考えているのか。

**村長** この道路計画を進めるためには、給食センターや小学校校庭も計画用地に入る事業となる見込みである。

グラウンドが先ではないかという点であるが、この計画が補助事業採択となり、実施される場合は一番先に用地交渉をして、グラウンド、給食センターといった工事を先行すべきと考える。

事業費については、現在担当で調査をし、委託することになると思っている。

コミリサイクルの  
広域的取り組みを

**問** この効果を上げるには、広域での取り組みが重要と考える。広域圏での現状と今後の取り組みや方向をどのように進めるのか、村としてはどのような考えで、取り組んでいくのか。

**村長** 広域では、ベトポトルなどのビニール類等の処理方法に検討を加えているが、分別収集の徹底がリサイクルに直接つながると考えている。

東成瀬村はまだ遅れている部分もあり、そういった点を課題として取り組んで行くべきと考え、出前の説明会などを開きリサイクルの進捗を図りたい。

今後国道改良は  
ダム関連となるのか

**問** 岩井川バイパスは成瀬ダム関連工事となったが、今後の国道改良事業もダム関連事業として進められるのか、見解を聞く。

**村長** 岩井川バイパスは、住民要望や村要望活動により、県ばかりでなく東北整備局にも協力いただいで、合併施工になったものである。村としては期待したいが、そうはいかないのではと思っている。



伊勢谷政雄 議員

## 宮田上林線は今必要な事業か 村長/総合的に判断して進める



柳 邦 夫 議員

# 街灯料金と集落会館維持の村費負担を 村長/懸案事項であり実現に向け検討中

**問** 村内の街灯は、防犯灯でもあり明るい村づくりとしても、最も効果的、必要性の高い行政施策である。

この街灯料金の村費負担要望は長い年月を経ている。

早急な行政対応を望む。

また、公民館の分館扱いとなっている集落会館と、なっていない会館の維持管理費について、公平性のある措置をすべきである。

来年度からは、合併浄化槽工事費も関連してくるので。

**村長** 街灯料金の村負担については、検討を加え実現の方向を探ってきたい。

会館の電話は、オフトーク通信との関連を含めて考えたい。

その他維持費の支出についても、公平な負担方法について、検討を加える必要があると思っている。

宮田上林線の

新設構想は

**問** この莫大な事業を借金してまで行う、緊急必要性の有無は。理由のひとつに、中学校に大型バスの乗り入れを可能にするともあったが、先の教育委員会の説明で、バスの使用は年間十回程度で、蛭川側からも可能と言われた。

なお、この道路工事に伴い必然

的に関連する給食センターの移転、グラウンド造成費と用地買収費などの教育関連施設費は算定済みなので、道路は三億二千万だそうなので、教育施設整備費と併せればどうなのか、総合的に論議すべきで、例え結果的に実施であっても教育関連施設の整備が優先すべきで、道路計画が先行すべきでない。

**村長** 村としては、必要な整備路線と考えている。

同時に教育施設との関連性については、総合的に判断すべきであり、同時並行的に進行するかは、いずれ具体的な予算計上の時点で審議頂くことになろうと思う。

私が村は、八十五パーセント以上が山林原野の村である。都市部に仕事のない不況時代を一つの契機として、忘れられていた故郷の山を見つめ直す機会にすべきと思う。

就労希望者を募り、公有林の育成事業、植林も含めて山村ならではの特色を活かした、都市部の町村にない模範的な雇用拡大、不況対策を立ち上げるべきと思う。

**村長** 村の求職者数は、十二月十三日現在で六十五名、まだ増える傾向だ。

独自の雇用創設として、栗駒リゾートに季節雇用で二十名、地籍調査整理に二名、他に建設業、森林組合に委託する公有林整備事業など村独自の計画を五案程度考えている。

行政報告でも述べたが、未曾有の不況を乗り切るため、村を上げて取り組むべく努力を決意している。

## 不況対策で村独自の雇用創設策を

雇用創設策を

**問** 村内の求職者数の実態と状況について、各家庭の主たる生計維持者であるか、また年齢別等家族構成などと、村独自の雇用創設計画を聞く。

我が村は、八十五パーセント以上が山林原野の村である。

都市部に仕事のない不況時代を一つの契機として、忘れられていた故郷の山を見つめ直す機会にすべきと思う。

就労希望者を募り、公有林の育成事業、植林も含めて山村ならではの特色を活かした、都市部の町村にない模範的な雇用拡大、不況対策を立ち上げるべきと思う。

**村長** 村の求職者数は、十二月十三日現在で六十五名、まだ増える傾向だ。

独自の雇用創設として、栗駒リゾートに季節雇用で二十名、地籍調査整理に二名、他に建設業、森林組合に委託する公有林整備事業など村独自の計画を五案程度考えている。

行政報告でも述べたが、未曾有の不況を乗り切るため、村を上げて取り組むべく努力を決意している。

# しつもん



スキー場でも雇用創設





工事中の防災情報センター

**問** 来春任期満了を迎える村長選に出馬し、村の将来の諸課題に意欲的に取り組む意思があるのかを伺う。

**村長** 村の将来に向けて、しっかりとした施策を執っていききたい。そのための方針である。平成十二年三月の第三次東成瀬村総合発展計画及び、平成十二年九月の過疎地域自立促進計画を策定した者として、計画がまだ始まったばかりであり、これを推進する責務があると考える。

また、村政運営の基本は生活環境の整備、社会福祉施策の充実、村民の健康維持、教育環境の充実などがあり、村の役割をしっかりと認識し村政運営に当たりたい。私の考えを理解頂くよう、再選に向け審判を仰ぐ考えである。

### 任期中を振り返って

**問** 様々な期待と課題をも抱え、スタートした佐々木村政と思うが、意欲的に村政執行をされて来たこと実感するが、三年半の任期中を振り返り、ご自身の感想を聞くとともに、現時点での考えを聞く。

# いっぱん

**村長** 公約としてきた事業を中心に着実に計画をし、議会並びに村民の方々のご理解のもとに、確実に実行してきたつもりである。その成果には、一定のご理解をいただけるのではないかと考えている。

公約のほかにも多くの事業を展開してきたが、その底流には、「村民の方々の視点に立った行政でありたい」との私の思いで、進めて来たことが理解いただけるのではないかと考える。

### 今後の行政課題は

**問** 今後我が村においても、少子高齢化や長引く不況による雇用対策など課題が山積していると思うが、現時点での課題を聞く。

**村長** 課題はまさしく、山積している。

一般的には高齢化と少子化、これに伴う過疎化、地方財政の悪化と、地方分権の推進策などに対応する大きな課題に直面している。

一方では住民サイドに立った行政のあり方を追求する政治をおこなう者として、あるいは基本的な地方行政のあり方に関わってきた者として、大きな課題であると認識している。

特に、小さな地方自治体であるからこそ出来る行政、真の地方自治を考えるとき、村民の声が反映する村政にと考えている。

佐藤 辰雄 議員

## 来春予定の村長選出馬の意思は 村長/再選に向け審判を仰ぎたい



谷藤 伶子 議員

# 生ゴミの資源化に対する助成を 村長/対応できる方向で検討



婦人団体が率先して

「環境はやくの村（ハク）」

**問** 稲川町の「クリーンセンター」へ議会で見学に行き、わが村はゴミの出し方が圏域でワーストワンであると指摘された。

また、今年の春から村でも、ダイオキシンなどの問題により、焼却処分が出来なくなり、大量のゴミが出るのではと心配した。

この二つの問題が引き金となり、婦人団体ではゴミの分別や減量に取り組んで行こうと、「生ゴミの資源化を考える会」を六月に設立した。

「考える会」では、今年度は三十人の会員が試験的に、家庭から出た生ゴミに「EMほかし」を使って堆肥化に取り組んでいる。

この先進地である岡山県の船穂町を視察研修してきた。

船穂町では、苦情の多いゴミ問題対策や、地場産業の活性化、高齢者雇用を視野に入れ、プラントを建設した。

ゴミの分別の徹底までは、約四年かかり、現在生ゴミ肥料化に協力しているのは、町の三分の一の世帯だが、年々実施者が増えているそうだ。

## いっぱん しつもん



ゴミ専用バケツ

今では、町全体に連帯感が生まれ、住民の生活環境に対する意識が変わってきたと評価していた。将来的には、船穂町のように堆肥化プラントの実現で、村民のゴミに対する意識改革をしながら、雇用の場が広がることを望む。

### 生ゴミ専用バケツの 購入に助成を

「考える会」では、堆肥化を始めてから半年しか経っていないが、徐々にその良さが浸透し、ある程度の自信もついてきたので、これからは全村に広めて行きたいと思っている。

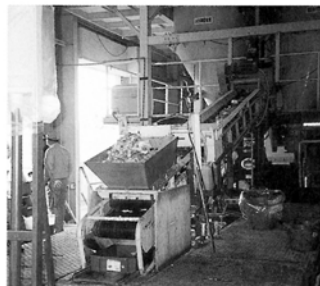
そのためには、専用バケツが必要となるので、購入のための助成を村にお願いしたい。

**村長** 生ゴミを土に環す堆肥化の取り組みについての事業活動は、発足の時から注目していた。

タイミング的にも、大勢の地域住民が参加されることを望みながら、その効果の大きいことが期待できると思っている。

具体的に、生ゴミ専用バケツの購入費の助成ということなので、担当あるいは財政当局とも相談し、対応できる方向で検討し、具体化に向け研究したい。

ゴミ対策に積極的に関わって行きたいと思っているので、皆さんからのご協力をお願いしたい。



船穂町の堆肥化プラント

# 行政報告

## 村営住宅年度内完成へ

村長



▼村営住宅建設は、臨時議会で補正予算を議決し、着工している。年度内の完成・新年度早々の入居を目標に工事を進めている。

▼下水道事業の合併浄化槽工事は滝ノ沢地区で四十八基、他の地区が十一基となっており、滝ノ沢地区の加入率は、五十五・二パーセントとなっている。

▼村道の生活道路の整備も順調で改良舗装四路線、舗装路線が三路線完成し、今年より除雪となる。一路線は用地の同意を得られず、残念ながら工事を断念している。

▼十二月二十二日オープン予定のジュネス栗駒スキー場は、昨年はある程度の実績を残したが、今年は昨年以上に苦戦が予想される。

来年計画の下田・田子内北地区については、既に説明会も開催、加入率を高めるよう努力している。

▼子牛市場は、狂牛病の発生により価格低迷が続く、肉用子牛価格安定基金の給付を決定した。

このような中で、雇用情勢の悪化に伴う離職者対策として、季節従業員を多く雇用する予定。

▼国道三四二号の須川温泉付近の渋滞解消の拡幅工事などが完成。各地域の流雪側溝の整備も着々と進んでおり、要望中の五里台は

▼「交通死亡事故ゼロ日数」三千日を、十一月九日に達成した。

▼果樹のうちリンゴ、梨については、遅霜とカメ虫被害の度合いが大きく、果樹組合からの助成要望もあり、補正対応した。

来年の工事となるよう要望中。狼沢橋付近のS字カーブの解消については、今年調査を終え、来年度から着手予定。

▼防災情報センターの建設工事は順調で、駆体のコンクリート打設が完了、内装、設備工事へ順調に推移している。

▼幸寿苑の大規模改修工事が十一月二十六日完成、入所者が快適に利用され、今後もサービス向上に努めたい。

▼小学校の統合により、閉校した旧三小学校の施設活用について、「旧小学校活用検討委員会」をつくり検討してきたが、最終答申を踏まえ具体策の立案に進みたい。



スキー場で季節社員を増加



工事中の村営住宅  
(平良)

# こんな質疑がありました

(一般会計補正予算の「歳出」より)



常任委員会で林業研修  
(田沢湖町)

## 有機米の確認方法

高橋健議員 有機米の生産支援事業補助金追加とあったが、この確認方法はどのようにしているのか。  
農林課長 有機米生産部会の部長から確認をもらい、認定して補助金の交付となる。

## 国民年金事務費の専用回線使用料とは

佐々木正夫議員 年金事務費に専用回線使用とあるが、この内容を聞く。  
住民課長 国民年金の納付の仕方や資格の取得・喪失などの手続きが、村の業務から直接的に離れることになった。

この業務を行う上で必要な、社会保険庁と、県及び全国の市町村とを結ぶ電算機のオンライン化に伴う整備によるものである。

## 冬期交通対策費の修繕料は今なのか

伊勢谷議員 通常は冬期除雪が終わった時点で次年度のために備えると思うが、今回は違うのか。  
建設課長 ローターの車検の時に確認されたものと、ロータリーが古くなって多額の修理費が掛かるため、県より払い下げを受けてこれを整備したことなどによる。

## 源泉ポンプ交換工事の原因

富田議員 観光費の工事で、四十九数メートル付近での障害と聞いたが、この故障原因は判ったのか。  
商工観光課長 原因の特定はできていない。

四業者に依頼したが、現時点では特定する事ができず、四社とも地殻変動による障害でないかと推定するとの回答であった。

## 中山間直接支払いの追加は

高橋健議員 この追加は計測違いから出たのか、いろいろな努力の結果なのか。その要因を聞く。  
農林課長 昨年度に確認漏れの地区があり、これを今回追加した。場所は手倉地区である。



凍上災の現場

(田子内)

## 凍上災害査定のご感想は

富田議員 しばらくぶりの凍上災害事業での申請と聞く。  
この通知を受けてから、査定を受けた経緯を含めて感想を聞く。

建設課長 秋田県では十六年ぶりの凍上災害で、当時は雪をかぶった状態で報告書を出せとか、いろいろあったが、今年はあるのではというわきさもあり準備をした。  
亀甲状のひび割れの多い村道路線で、対象候補が多く採択率は低かったが、担当としては、少しで

も補修できてよかったと思っている。しかし、工事の跡を見るとつぎはぎだらけで、決して満足のものではない。

## 林業情報管理システム

### 整備運営補助金とは

佐々木正夫議員 支出先と、この補助金の内容を聞く。  
農林課長 雄勝森林組合の事業に補助をする内容で、林業情報管理システムを市町村が利用してデータを整備し、森林施業計画並びに策定業務に役立てる予定。

## 総務教育民生常任委員会

### 閉会中の活動報告

総務教育民生常任委員長 富田 義行

◆これまでの議会だよりに掲載された活動報告をふくめ、当委員会では今年計画した調査活動の大半をほぼ終えています。

◆恒例となっている村内の教育・福祉・医療保健施設の視察などに加えて、新装となった湯沢・雄勝広域市町村圏組合の羽後町貝沢こみ処理施設や湯沢市にあるし尿・浄化槽汚泥を処理する清掃センターの視察も昨年は行いました。

◆去る十一月五日には、村営住宅、保育料無料化、行政情報通信施設などの内容を学ぶ目的で仙北郡の西木村を訪れています。

この村の保育料については、わが村と違いへき地保育所であるという点での条件の違いはありますが、少子化対策として無料化にふみきつた政策実現の過程を村長からも直に説明いただき、大いに参考になりました。

また村営住宅については、過去五年間の事業年度中に、集会所一棟、住宅十二棟（内容は平屋棟、



二階建棟の二種類とバリアフリー棟、を総事業費六億八千七百六十万円余りで建設、これもわが村と立地条件の違いはあるのですが、雪対策とともにブライパシー重視、オール電化という住宅構造、近隣の町からの利用希望者がかなりいる点も委員の関心をひきました。

◆十三年会計年度も残すところあとわずか、当委員会の一同、ここで紹介できないその他の視察調査活動から学んだことも含め今後の旺盛な議論につなげる所存です。

# こんにちは 常任委員会です

## 産業建設常任委員会

### 県内視察(田沢湖町の千葉家・仙北東森林組合)

産業建設常任委員長 鈴木 秋雄

初雪のちらつく中、十一月十三日田沢湖町に県内視察を実施し、委員の今後の議員活動の糧となるべき事業をこの目で見た。

◆千葉家の千葉茂樹当主から、これからの林業経営や村の林業政策についてのアドバイスなどを聞く機会を得た。

また、実際に林地に足を運び先代や先々代からの計画的な施策の実施状況聞き、文化、文政の頃より受け継がれてきた「家伝林」は、国有林の天然秋田杉にも匹敵するもので、秋田杉の民間植栽林として貴重な存在となっている。

◆仙北東森林組合では、間伐材利用で、木炭生産を通じて大地に還元するという施策を積極的に実施している組合を視察した。

我々が木炭生産として思い浮かべた時は、村にあるような窯を想像していたが、異質な平ガマで村でいうところの「クン炭焼き」に近いものであった。

森林組合の事業で生産される間伐材を使用している点やこれを林



業活性化のために活かしている点など、村としても学ぶべき点が多く、今後の村の施策として検討すべき点もある」と参加した委員からの声もあった。

木炭関係については、今後益々勉強する必要があると委員一同感じてきた研修であった。

◆この冬は例年になく大雪で、暮れの三十一日には、村で雪害警戒本部が設置された。

事故のない年であることを祈りたい。

# 活動から



## 研修視察報告

議会運営委員長 柳 邦夫

### 議会運営委員会

議会運営委員会では、去る十一月二十六日に、福島県田村郡都路村議会に、議員定数削減の経緯の研修を行った。

都路村議会での対応は、議長・議会運営委員長（当時の特別委員会委員長・事務局長の三名で、

説明の要旨は次のとおりであった。平成九年十二月十八日議員定数

に関する調査特別委員会設置以来、平成十一年六月二十三日議員減少

条例の一部改正により、十四名を十二名に削減し、次の一般選挙か

ら実施することで、全会一致で可決するまで、特別委員会は八回開

催し賛否を無記名投票の結果否決の時もあったが、人口減と時代の

趨勢も加わり、最終的には議員自身

の判断で二名減となる。都路村は、人口三千二百人、通常

予算の規模などもわが村に似ており、福島県の中通り地方で、郡

山市から三春を経て四十六キロメートルの山峡の静かな村であった。

山といっても、放牧も可能な里山で、雪も二十センチメートル程度

であるとの羨ましい説明であった。里山を利用し肉牛の生産や養鶏

が盛んで、公有林、学有林の下刈機による林の手入れは、秋から冬にかけて大部分が母さん達が行う

と聞き女性の勤勉な村と驚いた。このほか、村独自の文化財指定が徹底していて、先人の歴史や芸術を大切に次世代に伝えている。

（自然を愛し静かな

美しい村にしましょう）

という都路村民憲章に合致した、

豊かな村づくりの印象を感じた。

## 議会日誌

（10月より12月まで）

平成13年

- 10月5日 雄勝郡町村議会議長会（湯沢市）
- 10月7日 第1回 東成瀬小学校運動会
- 10月9日 議会運営委員会
- 〃〃〃 第6回 臨時会
- 〃〃〃 広報対策特別委員会
- 10月13日 岩井川・三又地区交流会
- 10月16日 広報対策特別委員会
- 10月21日 東成瀬中学校祭
- 10月23日 村営住宅に関する条例等の説明会
- 〃〃〃 皆瀬村・東成瀬村議会議員交流会
- 10月24日 13年度出稼ぎ安全就労祈願祭
- 10月25日 広報対策特別委員会視察研修（宮城県
- 10月28日 村福祉大会
- 〃〃〃 村産業祭授賞式
- 10月30日 増田町・東成瀬村議会議員交流会
- 10月31日 秋田県における市町村合併の勉強会
- 〃〃〃 議会運営委員会
- 〃〃〃 第7回 臨時会
- 11月1日 森林交付税フォーラムin島根（島根県）
- 11月5日 総務教育民生委員会県内視察（西木村）
- 〃〃〃 知事と県南地区町村議会議長との行政懇談会（湯沢市）
- 11月6日 成瀬ダム下流工事用道路（岩井川バイパス）着工式及び祝賀会
- 〃〃〃 全県広報委員研修（秋田市）
- 11月7日 東成瀬中学校模擬議会
- 〃〃〃 山形新幹線大曲延伸総決起大会（横手市）
- 11月8日 湯沢雄勝広域市町村圏組合議会臨時会

# 委員会

## 議会広報対策特別委員会

### 読みやすさと住民の声を

議会広報対策特別委員長 高橋 健

議会広報対策特別委員会では、十月二十五日、宮城県松山町を訪れ視察研修を行った。

双方の委員が、原稿依頼の方法や編集会議の回数、特別企画などの取り組み、写真取材や写真の確保の方法などについて意見交換をした。

読みやすくするために、活字を大きくし余白をとるための工夫や、また写真を多く使うなどの努力をしているとのことであった。お互いの議会だよりを見ながら

の意見も活発に出されていた。研修であった。

「住民が紙面に少ない。表紙になぜ議会か？」の質問に「言われてみればそうかもしれない」。

「同じ写真が二枚使われている意図は」と聞くと、「ただ使ってしまう」。また、タイトルのつけ方の工夫が必要など、普段何とも思わないで使っていることが、改めてこのような場で、お互いに指摘しあいながらの、和気あたたかい研修であった。

特に今後は、紙面に村民の声を反映させること、企画記事の編集にも力を入れるべきと感じてきた。▼議会広報委員研修が、秋田市で開催され、これに委員が参加してきた。

広報評論家の保坂政和氏の「初めてのパソコン・音声入力」の活用と、県内四町村の議会だよりのクリニックによる研修で、今後の参考とした。

皆さんの声を、ぜひ広報委員会までお知らせ下さい。



東成瀬中学校模擬議会

- 11月12日 村内用子牛価格安定基金運営委員会
- 〃月〃日 山内村・東成瀬村議会議員交流会
- 11月13日 産業建設委員会県内視察（田沢湖町）
- 11月13日 雄勝郡町村議会議長会要望会（東京都）
- 11月14日 豪雪地帯町村議会議長全国大会（東京都）
- 〃月〃日 町村議会議長全国大会（東京都）
- 11月15日、17日 雄勝郡町村議会議長研修（山口県）
- 11月22日 豪雪地帯対策特別措置法改正  
推進合同大会（東京都）
- 11月26日、27日 議会運営委員会視察研修（福島県）
- 11月28日 村道宮田上林線整備に伴う  
教育委員会施設説明会
- 〃月〃日 主要地方道横手東成瀬線現地研修会
- 12月4日 村営住宅地鎮祭
- 12月6日 議会運営委員会
- 12月7日 村商工会年末懇談会
- 12月11日、14日 第8回 定例会
- 12月21日 村農業振興地域整備促進協議会
- 12月22日 ジュネス栗駒スキー場開き
- 12月25日 議会全員協議会（田子内簡易水道関連）
- 12月26日 湯沢雄勝広域市町村圏組合議会定例会

# 皆さんからの 「請願・陳情」 このようになりました

## 採択となった陳情

- ▼国による市町村合併の押しつけに反対する意見書採択に関する陳情
  - ・秋田県労働組合総連合 議長 鈴木 政隆 外2名
- ▼地方交付税の削減に反対し、地方税財源拡充を求める  
意見書採択に関する陳情
  - ・秋田県労働組合総連合 議長 鈴木 政隆 外2名
- ▼地域事情を配慮して、秋田県独自に30人学級を実現する  
年次計画の策定を求める意見書の提出についての陳情
  - ・秋田県ゆきとどいた教育をすすめる会 会長 金野 和子
- ▼少人数学級の推進、地方税財源・教育予算の拡充  
および義務教育費国庫負担制度堅持についての陳情
  - ・秋田県教職員組合 執行委員長 内藤 眞吾 外2名
- ▼政府の「医療制度改革」に対する意見書提出に関する陳情
  - ・秋田県生活と健康を守る会連合会 会長 鈴木 正和
- ▼就学援助の充実を求める意見書採択に関する陳情
  - ・秋田県生活と健康を守る会連合会 会長 鈴木 正和
- ▼労働者の雇用、失業、中小企業対策の強化を  
国に要請する「意見書」採択の陳情
  - ・秋田県労働組合総連合 議長 鈴木 政隆 外1名
- ▼ネギ、生しいたけのセーフガード本格発動に関する陳情
  - ・こまち農業協同組合 代表理事組合長 阿部 修悦 外1名
- ▼健保本人3割負担、高齢者患者負担引き上げなどの中止を求める陳情
  - ・秋田県社会保障推進協議会 会長 渡辺 淳

〔以上の9件の陳情は採択と決定し、内閣総理大臣など  
国の関係機関に対して意見書の送付を行った。〕

明けておめでとうございます。  
 昨年は「戦」の文字に象徴されるさまざま  
 な出来事が多かった。県内は、「苦」であっ  
 た。  
 年末の大雪で、暮れに村雪害警戒本部が  
 できた。  
 大変な苦勞である、雪との戦いはじまっ  
 た。  
 大晦日には、人生を唄いあげる歌詞にう  
 なづきながら紅白歌合戦を観る。  
 新春の大学箱根駅伝の、選手の熱い走り  
 の画面に感動し、思わず「ガンバレ」と応  
 援する。  
 新聞やTVで全国各地の市町村名が出る。  
 自分が視察や研修した地名の記事は、どう  
 しても詳しく読んだり見たりする。  
 そんな意味では大いに研修すべきと思う。  
 何はともかく、早く不況の風が飛んでいき、  
 いい年であって欲しい。

(委員長：高橋 健)

井の中の蛙大海を知らず  
私もひとこと

岩井川 谷藤トモ子さん



新年明けまして

おめでとうございます

不況の風が吹き荒れる中で、昨  
年11月23日～25日までの3日間、  
千葉県幕張メッセで開催された「第  
12回電気ふるさとじまん市」に、  
初めて私達のなるせ加工も参加さ  
せてもらいました。

目を見張る程大きな会場で、全  
国219市町村から持ち込まれる特  
産品を目当てに、1日5万人もの  
人々が押し寄せてくるなかで、も  
みくちゃんになりながらも、試食を  
手渡し続けながら、お客さんから  
返ってくることばの中に、味の違  
いやらその他様々なことを気づか  
せてもらえたことが、私の一番の  
収穫だったように思えます。

大手スーパーなどにも定期的  
になるせ加工の商品が出ていっ  
ている現在、なるべく地場産品を利  
用して特産品を作りたいという姿  
勢に変わりはありませんが、この  
物産展での体験を生かしながら、  
自分達の味を作り続けて行けたら  
思っております。

買い控えの時代である今日、少  
しでも村に活気がみなぎってくる  
よう、村の発展と共に願っています。

編集室